

# 2023年12月期 決算補足説明資料

2024年2月14日

株式会社HANATOUR JAPAN



東証グロース コード 6561

# Summary

**2023年12月期 売上高・各利益ともに 業績予想 達成**  
売上高5,145百万円 営業利益819百万円 経常利益766百万円

**2023年訪日外客数 年間2,500万人突破 ⇒ 2019年比 8割回復**

## 旅行事業

### FIT(個人客) 急増

BtoBプラットフォーム「Gorilla」による  
ホテル・旅ナカ商材



売上高 想定以上に増加

地方空港の国際線 回復基調



団体パッケージ 順調に回復へ

## バス事業

インバウンド・国内需要拡大に向け ⇒ ドライバー増員・営業強化

## ホテル事業

国内外の団体の積極的な受注 ADR・稼働率 ⇒ 順調に回復

**業績予想 2024年12月期 正常化へ期待**

売上高6,500百万円 営業利益1,300百万円

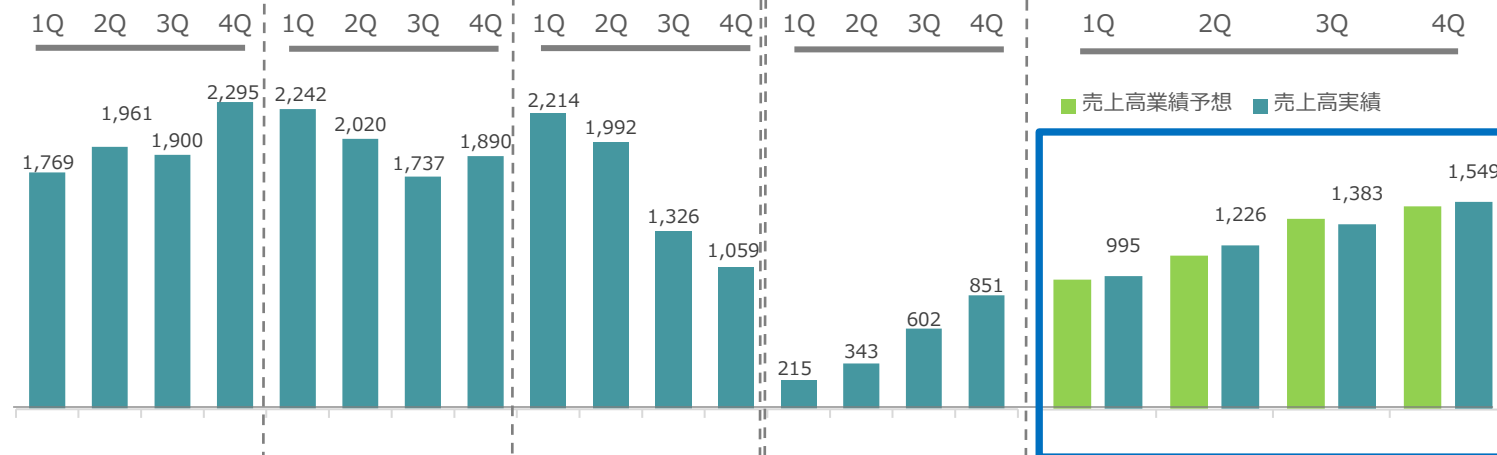
コロナ前（対2018年度）の82%回復の売上予想

# 売上高 営業利益 四半期推移

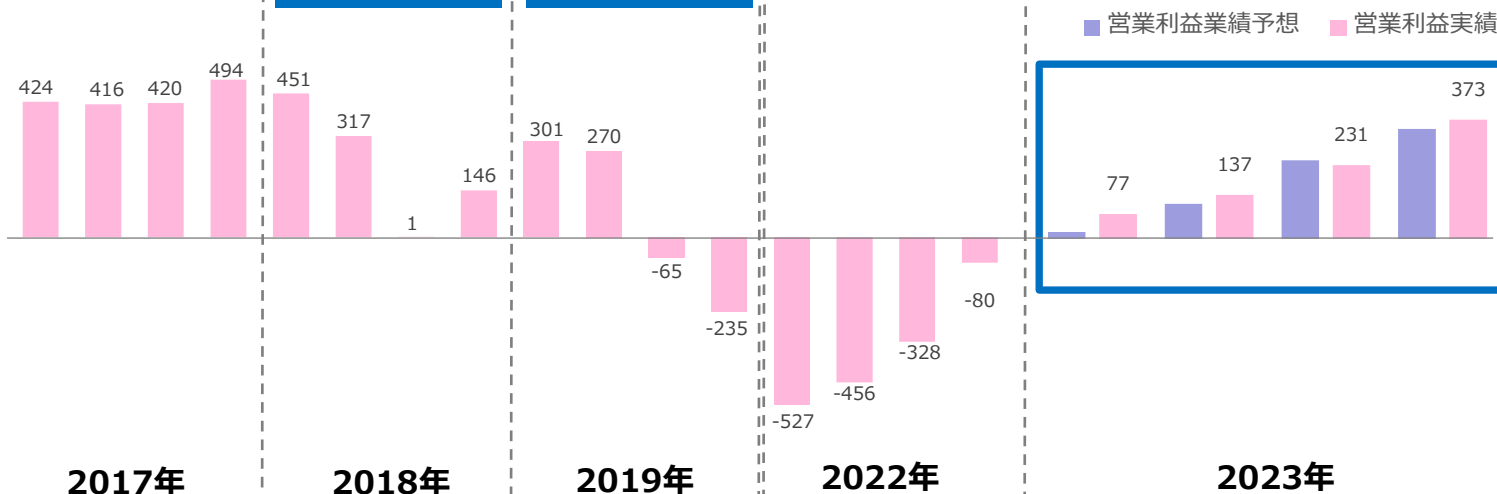
## 2023年12月期 売上高 営業利益 業績予想達成

単位：百万円

### 売上高

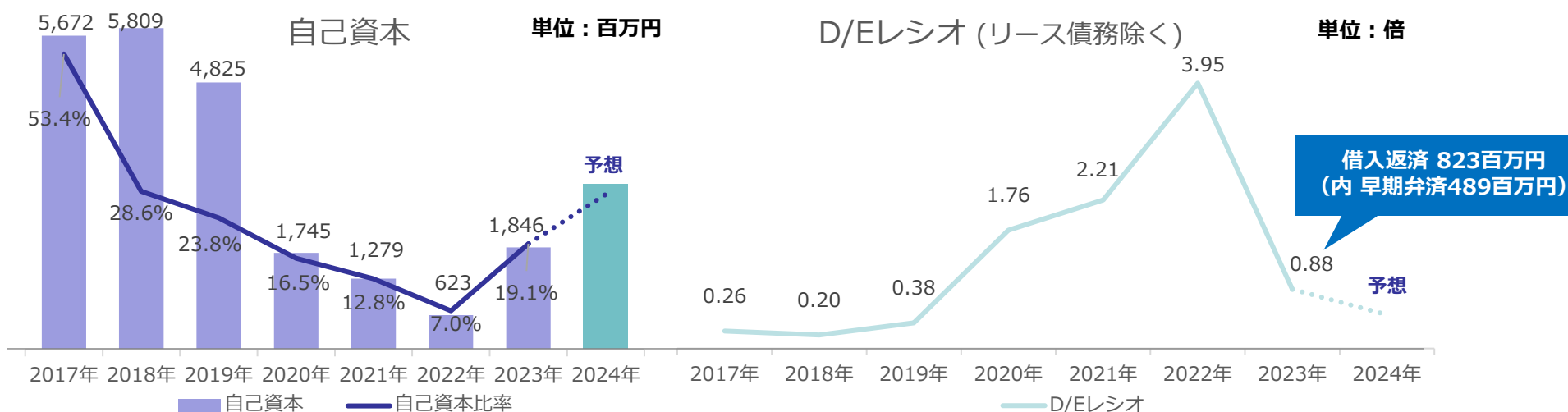
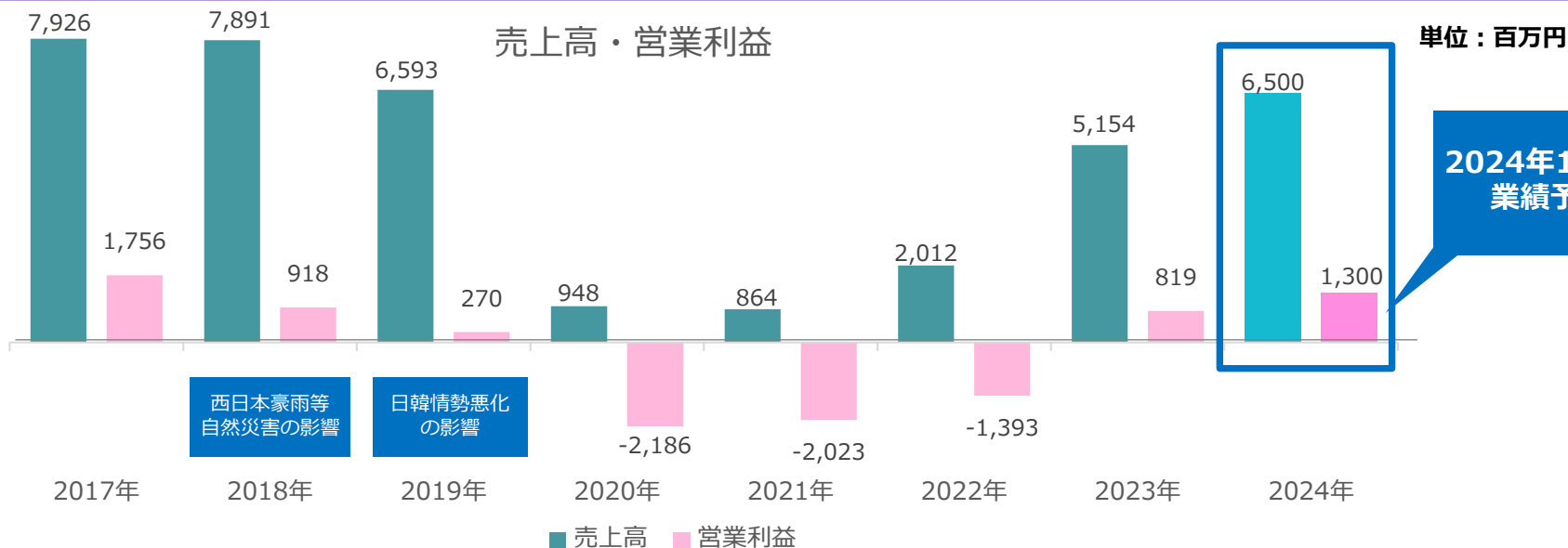


### 営業利益



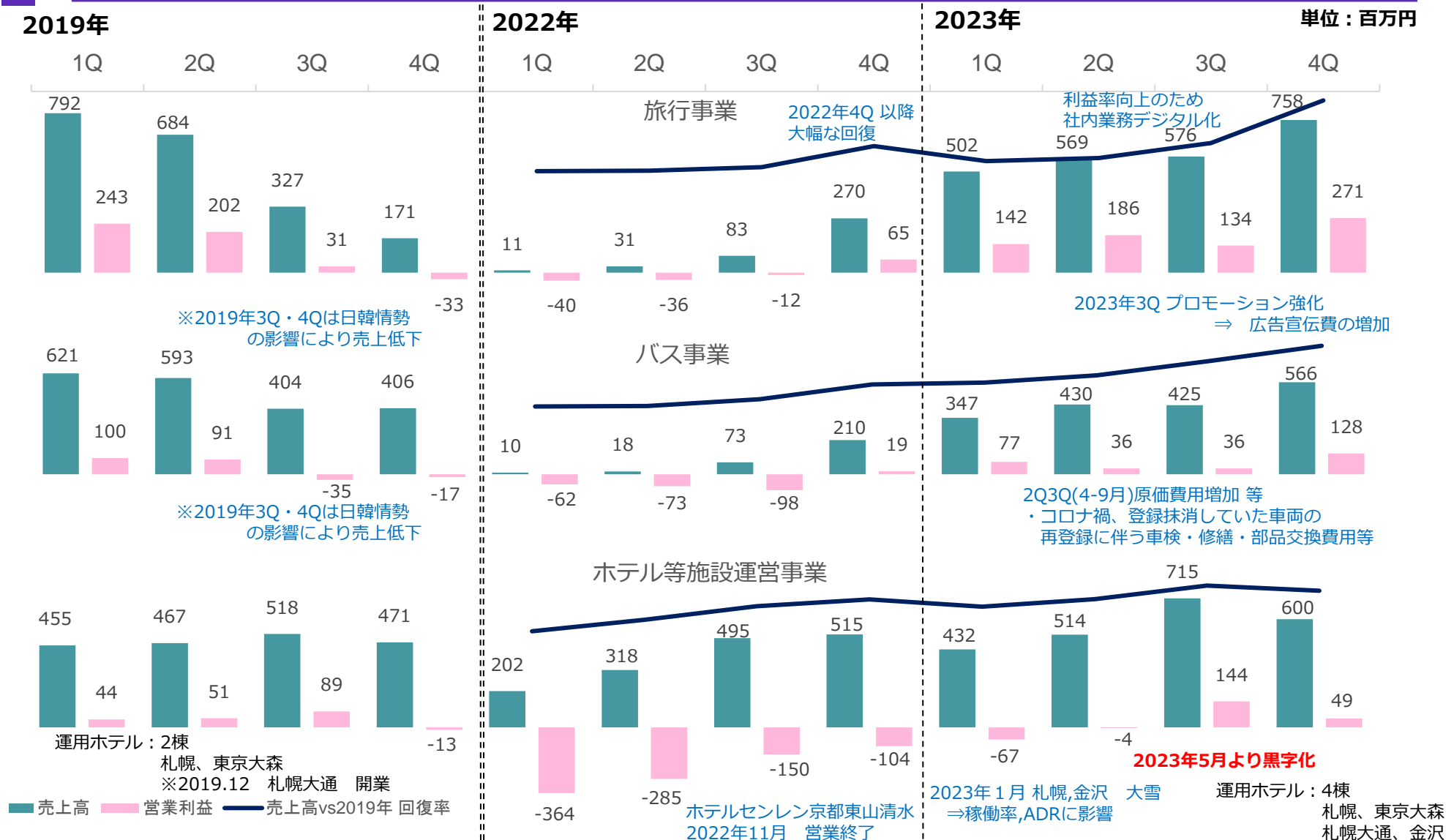
# 連結業績推移 財務状況

2024年度 対2018年比 売上高82%回復の予想 正常化へ期待 財務体質 改善へ



# セグメント別 売上高 セグメント利益 四半期推移

## 2023年12月期4Q 旅行事業・バス事業 今期最高益 ホテル事業 予想営業利益を達成



# 国際定期便の状況

## 日韓路線便数 回復 地方空港も回復基調

2019年冬ダイヤ

エリア	空港	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他
北海道	新千歳	●	●	●	●	●	フィリピン、米国 他
	旭川				●		
	函館				●		
東北	青森	●			●		
	仙台	●			●	●	
	花巻	●			●		
	新潟	●	●	●	●		
関東	成田	●	●	●	●	●	世界各国
	羽田	●	●	●	●	●	世界各国
	茨城		●		●		
東海	静岡	●	●		●		
	中部	●	●	●	●	●	インドネシア、シンガポール、米国 他
北陸	富山		●		●		
	小松		●		●		
近畿	関西	●	●	●	●	●	世界各国
中国	岡山	●	●	●	●		
	広島	●	●	●	●		シンガポール
	米子			●			
四国	高松	●	●	●	●		
	松山	●	●		●		
九州	福岡	●	●	●	●	●	シンガポール、フィリピン 他
	北九州	●	●		●		
	長崎		●	●			
	佐賀		●		●		
	宮崎	●			●		
	鹿児島	●	●	●	●		
	大分						
沖縄	那覇	●	●	●	●	●	シンガポール
	下地島			●			
	新石垣			●			

2023年冬ダイヤ

エリア	空港	韓国	中国	香港	台湾	タイ	その他
北海道	新千歳	●	●	●	●	●	マレーシア、シンガポール
	旭川				●		
	函館			●	●		
東北	青森	●					
	仙台	●	●		●	●	
	花巻				●		
	新潟	●	●		●		ロシア
関東	成田	●	●	●	●	●	世界各国
	羽田	●	●	●	●	●	世界各国
	茨城				●		
東海	静岡	●	●				
	中部	●	●	●	●	●	シンガポール、米国 他
北陸	富山		●				
	小松	●	●		●		
近畿	関西	●	●	●	●	●	世界各国
中国	岡山	●	●		●		
	広島	●	●		●		
	米子	●		●			
四国	高松	●		●	●		
	松山	●			●		
九州	福岡	●	●	●	●	●	シンガポール、フィリピン 他
	北九州	●					
	長崎		●				
	佐賀	●	●		●		
	宮崎	●					
	鹿児島	●			●		
	大分	●					
沖縄	那覇	●	●	●	●	●	シンガポール
	下地島						
	新石垣						

出典：国土交通省「国際線就航状況」をもとに当社作成

## 2023年12月期 実績Summary

2023年12月期は前年同期比156.1%増収

単位：百万円（百万円未満切捨て）

	2022/12		前期比			
		構成比	2023/12	差額	増減率	構成比
売上高	<b>2,012</b>	100.0	<b>5,154</b>	3,141	156.1	100.0
営業利益	△ <b>1,393</b>	△ 69.2	<b>819</b>	2,212	-	15.9
経常利益	△ <b>1,402</b>	△ 69.6	<b>766</b>	2,168	-	14.9
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ <b>657</b>	△ 32.6	<b>1,221</b>	1,879	-	23.7
1株当たり当期純利益(円)	△ <b>52.36</b>		<b>97.32</b>			
自己資本	<b>623</b>		<b>1,846</b>			

## 2023年12月期 損益計算書

各事業 稼働回復 人件費 変動経費 増加 繰延税金資産の計上 453百万円

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

	2022/12		前期比			
	2022/12	構成比	2023/12	増減	伸率	構成比
売上高	2,012	100.0	5,154	3,141	156.1	100.0
売上原価	491	24.4	1,370	879	179.1	26.6
売上総利益	1,521	75.6	3,783	2,261	148.7	73.4
販管費	2,914	144.8	2,963	48	1.7	57.5
うち人件費	648	32.2	928	280	43.2	18.0
営業利益	△ 1,393	△ 69.2	819	2,212	-	15.9
経常利益	△ 1,402	△ 69.6	766	2,168	-	14.9
親会社株主に帰属 当期純利益	△ 657	△ 32.6	1,221	1,879	-	23.7

## 売上原価

- ・バス事業：+861百万円
- ・ホテル事業：+30百万円

## 販管費

- ・旅行事業：+223百万円
- ・バス事業：+100百万円
- ・ホテル事業：△328百万円
  - ▷稼働率増加による  
変動経費増+238百万円
  - ▷京都ホテル減少分  
△599百万円
- ・調整他：+51百万円

## 営業外損益

- ・コロナ等助成金
  - ▷前期：79百万円
  - ▷当期：15百万円

## 税金費用

- ・繰延税金資産計上  
法人税等調整額(益)  
453百万円



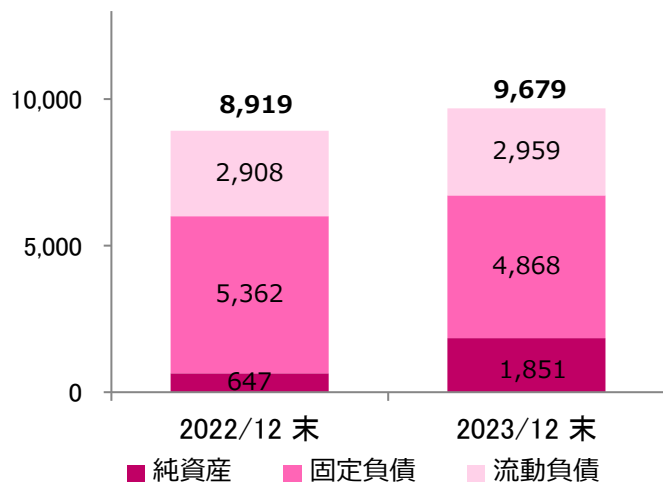
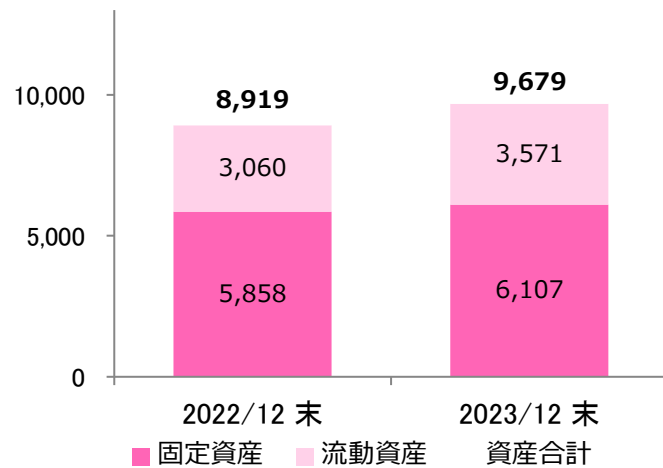
## 2023年12月期 セグメント別

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

		2022/12	2023/12	前期比		
				増減	伸率	構成比
旅 行 事 業	売 上 高	397	2,407	2,010	506.2	46.7
	セグメント利益	△ 24	734	759	-	89.6
	利益率	-	30.5	-	-	-
バ ス 事 業	売 上 高	314	1,768	1,454	463.3	34.3
	セグメント利益	△ 214	278	492	-	33.9
	利益率	-	15.7	-	-	-
ホテル等施設運営事業	売 上 高	1,532	2,263	730	47.6	43.9
	セグメント利益	△ 905	122	1,028	-	15.0
	利益率	-	5.4	-	-	-
そ の 他	売 上 高	29	42	13	46.6	0.8
	セグメント利益	△ 1	0	1	-	0.0
	利益率	-	-	-	-	-
小 計	売 上 高	2,273	6,482	4,209	185.1	125.7
	セグメント利益	△ 1,146	1,135	2,281	-	138.6
	利益率	-	17.5	-	-	-
調 整 等	売 上 高	△ 260	△ 1,327	△ 1067	409.3	△ 25.8
	セグメント利益	△ 247	△ 316	△ 68	-	△ 38.6
	利益率	-	-	-	-	-
合 計	売 上 高	2,012	5,154	3,141	156.1	100.0
	営 業 利 益	△ 1,393	819	2,212	-	100.0
	利益率	-	15.9	-	-	-

## 2023年12月期 貸借対照表

単位：百万円（百万円未満切捨て）



<b>流動資産</b>	3,571	(+511)	
■ 現金及び預金	1,988	(+47)	営業CF +1,287 借入返済 △833 (内 早期弁済 488)
■ 売掛金及び 契約資産	1,232	(+459)	売上増に伴う増加
<b>固定資産</b>	6,107	(+249)	
■ 有・無形固資	4,662	(△248)	償却等による減少、設備投資+162
■ 繰延税金資産	453	(+453)	回収可能性検討により計上
<b>流動負債</b>	2,959	(+51)	
■ 営業未払金	783	(+371)	各事業稼働増に伴う増加
■ 短期借入金	847	(△576)	早期弁済等による減少
■ 未払費用	583	(+104)	各事業稼働増に伴う増加
<b>固定負債</b>	4,868	(△494)	
■ 長期借入金	588	(△239)	早期弁済等による減少
■ リース債務	4,275	(△240)	返済による減少
<b>純資産</b>	1,851	(+1,203)	
■ 資本金	100	(△1,671)	減資→利益剰余金へ振替
■ 資本剰余金	450	(△1,266)	
■ 利益剰余金	1,494	(+4,159)	資本からの振替+2,938 当期利益 +1,221

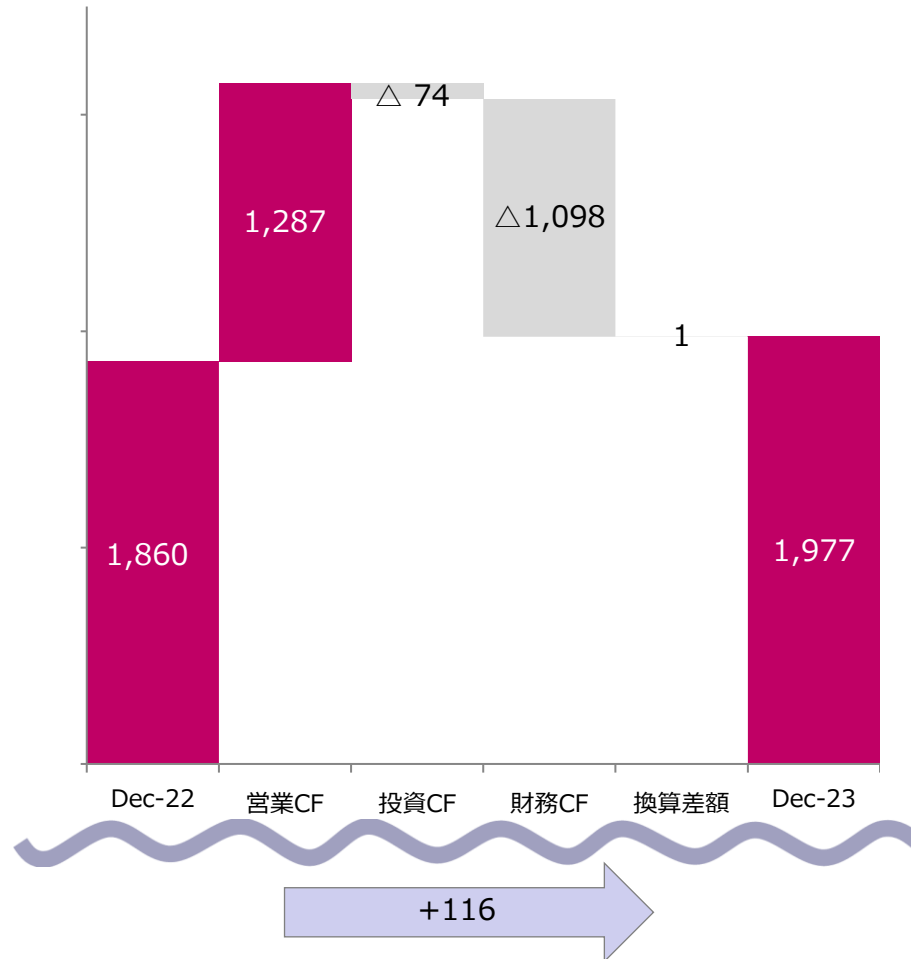
## 2023年12月期 CF計算書

**FCF 増加 借入債務等の支払額（早期弁済 489百万円）を吸収 ⇒ Cash 増 116百万円**

## CF計算書

(百万円)

単位：百万円（百万円未満切捨て）



※百万円未満切捨て

## 営業CF

1,287

■ 営業利益	819	+償却費371=1,190
■ 営業債務 増加	379	各事業 稼働増に伴う増加
■ 営業債権 増加	△454	

## 投資CF

△ 74

■ 固定資産取得	△ 127	バス車両 一部買替 旅行事業・バス事業 システム開発
■ 定期預金解約	80	借入返済へ充当

## 財務CF

△ 1,098

■ 短・長借入金	△ 823	返済 内) 早期返済 △489
■ 社債	△ 10	償還
■ リース・割賦債務	△ 265	返済

# 2023年12月期 コスト推移

各事業 稼働増加 ⇒ 人件費 変動経費 増加

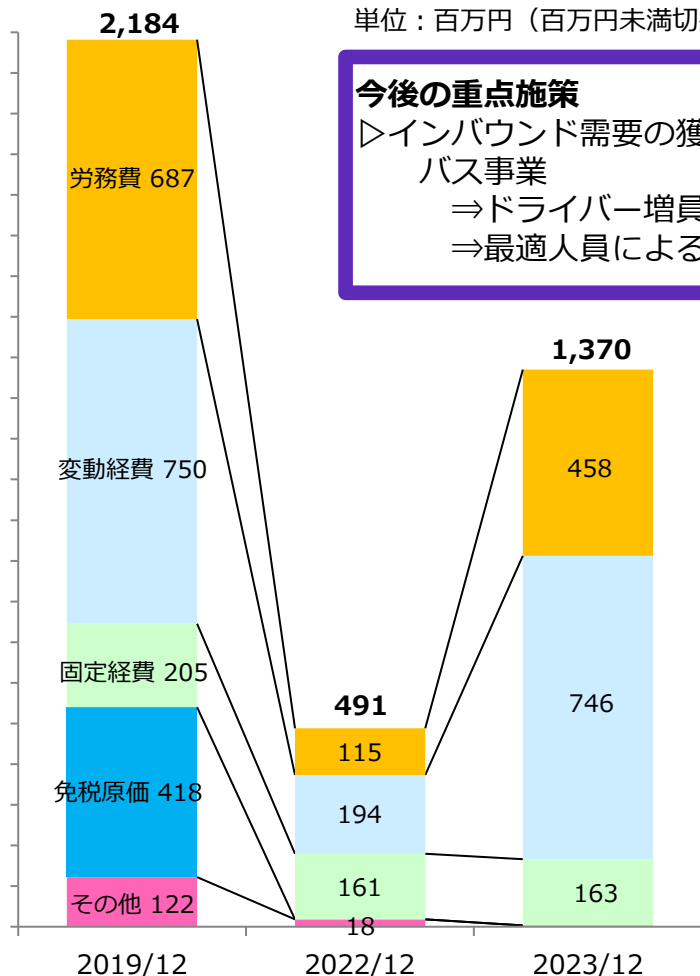
最適人員を維持、経費節減の徹底

## 売上原価 3期比較

単位：百万円（百万円未満切捨て）

### 今後の重点施策

- ▷インバウンド需要の獲得に向け  
バス事業  
⇒ドライバー増員  
⇒最適人員による生産性向上

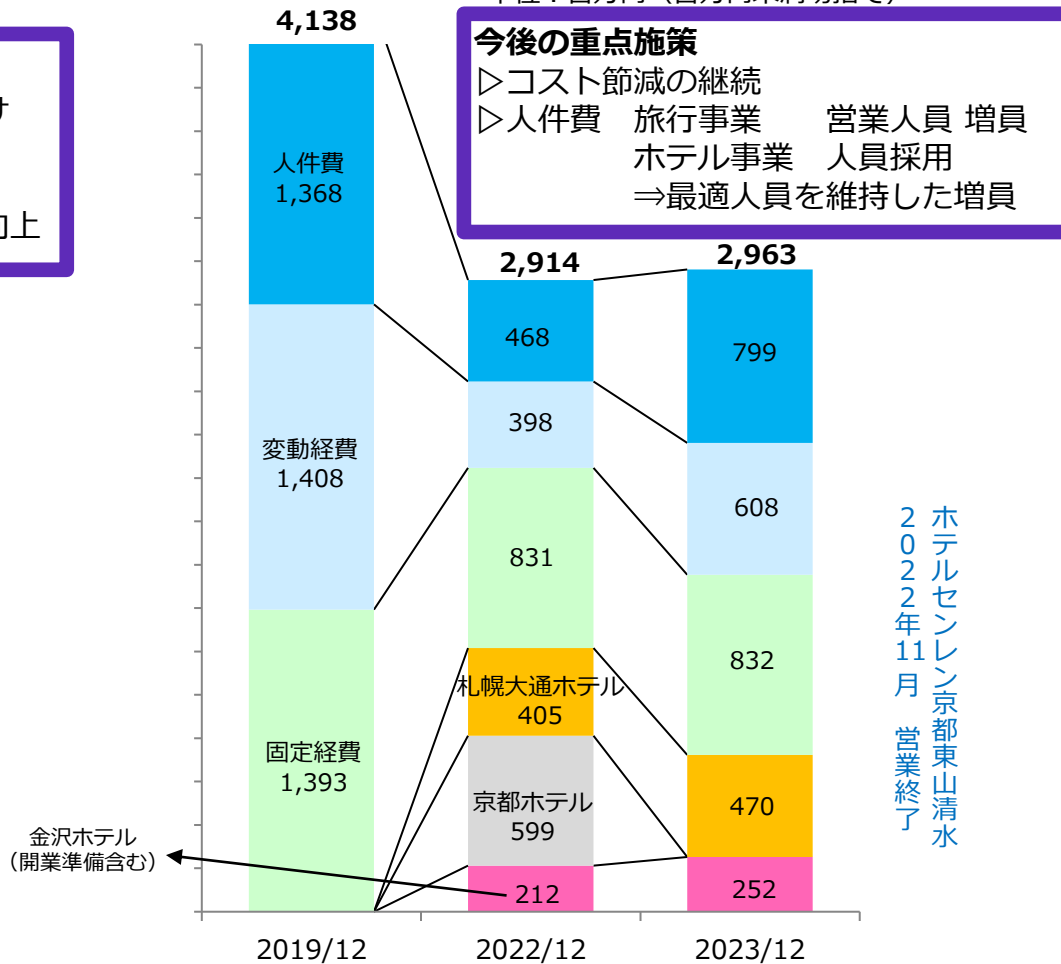


## 販管費 3期比較

単位：百万円（百万円未満切捨て）

### 今後の重点施策

- ▷コスト節減の継続
- ▷人件費 旅行事業 営業人員 増員  
ホテル事業 人員採用  
⇒最適人員を維持した増員



2022年11月 営業終了  
ホテルセンレン京都東山清水

## 2024年12月期 業績予想

コロナ前（対2018年度）の82%回復の売上予想

最終利益 1,140百万円

単位：百万円（百万円未満切捨て）、%

	2023/12		2024/12 前期比			
		構成比	予想	増減	伸率	構成比
売上高	5,154	100.0	6,500	1,345	26.1	100.0
営業利益	819	15.9	1,300	480	58.6	20.0
経常利益	766	14.9	1,150	383	50.0	17.7
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,221	23.7	1,140	△ 81	△ 6.7	17.5
1株当たり当期純利益	97.32		90.80			

※ 期末配当予想額は未定です

## 2024年12月期 今後の重点施策

## 営業基盤の強化

## 経営効率化

## 需要獲得・事業拡大への取組

## 旅行事業

- ▶ 営業拠点の選択と集中  
東京本社・九州営業所・北海道営業所  
韓国営業所・インドネシア事務所  
海外新拠点の開設検討
- ▶ 人員最適化  
及び業務デジタル化による生産性向上

- ▶ インバウンド需要獲得に向けた取組み
  - 「Gorilla」海外有力サイトとのAPI連携推進  
取扱商材：ホテル・旅ナカ商材の拡充
  - ホテル等 仕入強化
  - 海外AGTへの営業強化

## バス事業

- ▶ 営業拠点：東京・大阪・北海道・福岡  
⇒ 人員最適化  
及び業務デジタル化による生産性向上

- ▶ 国内AGTへの営業強化
- ▶ 国際便クルー送迎など  
送迎事業の拡大・生産性向上
- ▶ 各事業所 ドライバー増員

ホテル等  
施設  
運営事業

- ▶ 運営ホテル  
「Tマークシティホテル」ブランド 4棟
- バリューマネジメントによるADR・稼働率向上
- 人員最適化による生産性向上
- ランニングコストの見直し

- ▶ 国内・インバウンド・FIT需要獲得に向けた取組み
  - 国内旅行エージェント・OTAへの営業強化
  - 海外旅行エージェントへの営業強化
  - グローバルOTA対応強化
- ▶ 各ホテル 人材の確保

## 財務体質の改善

生産性 利益率の向上  
余剰資金 → 早期弁済へ

- ▶ 自己資本比率の向上
- ▶ DELシオ の改善

# ディスクレームー

- 本書には、当社に関連する見通し、将来に関する計画、経営目標などが記載されています。これらの将来の見通しに関する記述は、将来の事象や動向に関する現時点での仮定に基づくものであり、当該仮定が必ずしも正確であるという保証はありません。様々な要因により実際の業績が本書の記載と著しく異なる可能性があります。
- 別段の記載がない限り、本書に記載されている財務データは日本において一般に認められている会計原則に従って表示されています。
- 当社は、将来の事象などの発生にかかわらず、既に行っております今後の見通しに関する発表等につき、開示規則により求められる場合を除き、必ずしも修正するとは限りません。
- 当社以外の会社に関する情報は、一般に公知の情報に依拠しています。

【お問い合わせ先】

株式会社HANATOUR JAPAN

経営管理部

TEL 03-6629-4755

ホームページ <http://www.hanatourjapan.jp/>